

## 関係人口の増加に係る取組（２０２１年１１月１日現在）

## （１）関係人口の掘り起こし

豊橋市	○ふるさと納税の返礼品に体験型メニューを加え、豊橋市の認知につなげる
豊川市	<p>○豊川稲荷や豊川いなり寿司をはじめとする地域資源の活用や、スポーツイベントやスポーツ合宿への支援などにより来訪者の増加を図るとともに、都市圏プロモーション活動などによるシティセールスの推進や、観光ルートの整備やおもてなし人材による魅力発信などによる観光振興により関係人口の創出・拡大を図る</p> <p>○また、ふるさと納税において地元産・製造物品の返礼品を充実させるとともに、地域の課題解決手法としてクラウドファンディングを積極的に活用することで、本市の認知度向上とあわせて関係人口の創出・拡大を図る</p>
蒲郡市	<p>○長中期的な関係人口の増加を目的とした「蒲郡市シティセールス基本方針」を本年度策定</p> <p>○ふるさと納税において地元特産品や蒲郡に足を運んでいただけるものなど返礼品を充実させ、本市へのふるさと納税の拡大を図り、認知度向上・関係人口の創出を図る。</p> <p>○一定期間働きながら暮らしを体験する「ふるさとワーキングホリデー」の実施し、若者の関係人口の創出を図る</p>
新城市	<p>○もつくる新城に新東名バス停留所を設置することにより関係人口創出を目指す</p> <p>○ふるさと納税の返礼品を充実させることにより、返礼品を通して本市のPRにつなげる</p>
田原市	○ふるさと納税制度を活用し市外の方に田原市を知っていただき田原市のファン獲得に努めている
設楽町	<p>○「オリエンテーリングのまち設楽町」を目指し活動を行う中、全国のオリエンテーリング関係者が大会運営等に携わっていたいている</p> <p>○起業家支援のコミュニティの繋がりから、設楽町の課題解決に向けたプロジェクトが立ち上がり、本年度そのチームが設楽町で合宿を張り、外部の目で設楽町を分析していただく。課題解決に向け皆を巻き込みながら進めていく</p> <p>○地域おこし協力隊事業の古民家再生リノベーション事業から、産学官連携が始まろうとしている。古民家再生の設計コンペから関わりを持ち、宿泊交流拠点施設として運営に至るまで関係を継続し、深化につなげる事業であり、完成後は利用者として関わりを持ち続ける</p>

東栄町	○関係人口については、民が担って行政は見守る、それが移住に繋がれば支援するという程度でよいと思っている。町内における関係人口は、ゲストハウスやカフェ等でのリモートワーク、ズーム会議、短期滞在者等多岐にわたっていると思うが、それを行政が数値化・制度化するよりも組織にとらわれることなく緩くつながっていったらいいのではないか
豊根村	○同級会においてふるさと村民制度※の説明を行っている ※豊根村出身者（３年以上居住、住民票のない方）、その子又は孫が対象
東三河広域連合	○東京圏や名古屋圏において東三河の特産品や観光ＰＲするイベントの開催や、ＳＮＳや雑誌を活用した情報発信をしている

## （２）関係人口の定着

豊橋市	○市外からサーフィンをするために来ている方による海岸の掃除を定期的に行っている ○「ほの国東三河応援倶楽部」首都圏にお住まいの愛知県東三河地域の出身の方へイベント情報や交流会開催をお知らせしている
豊川市	
蒲郡市	
新城市	
田原市	○ふるさと納税者の氏名を市のホームページで公表（希望者のみ）し、お礼を伝えることで愛着を高めている ○令和３年５月に当市の太平洋岸自転車道が「ナショナルサイクルルート」の一つとして指定を受けた。「ナショナルサイクルルート」という観光資源を活かしながら、ソフト・ハードの両面からサイクリストの受け入れを推進する
設楽町	
東栄町	
豊根村	○ふるさと村民に対し、例年春と冬にパンフレット類を送付し、村の宣伝や活動のサポートを依頼している
東三河広域連合	